

毘沙門沼

毘沙門沼は五色沼湖沼群の中で最大の沼で、五色沼とは磐梯山が 1888 年に噴火した際に生じた地滑りによって近くの川がせき止められた結果作られた、約 30 の浅く色彩豊かな沼と湿地のことです。

毘沙門沼は、光の具合によって青色にも緑色にも見えます。沼はそれほど強い酸性ではないため、プランクトンやフサモ属、ヒルムシロ属などの水生植物が繁栄しています。また、アブラハヤやウグイなどの数種類の魚もこの毘沙門沼に生息しています。

毘沙門沼は、ビジターセンターから続く小道に沿って西へ向かって歩くと最初に出会う池です。毘沙門沼はこの小道上では、手漕ぎボートをレンタルして水面から景色を楽しむことができる唯一の沼です。沼の名前は、仏教の神様の四天王の 1 人であり、室町時代（1136 年-1573 年）から崇拜されてきた日本の七福神の中の 1 人、「毘沙門」に由来します。